

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和12年度第8回)

開會日時 昭和12年11月10日(水)午後5時開會 同7時閉會

出席者

會長 水谷叔彦
 理事 渡邊三郎 吉川晴十
 前會長 今泉嘉一郎 俵國一 河村 曉 服部 漸
 常務委員 田中清治 三島徳七 鹽澤正一

協議事項

- 日本鐵鋼協會第19回講演大會開催準備に関する件
 - (イ) 開會日程 決定
 - 4月2日(土) 研究部
 - 4月3日(日祭) 通常總會 講演會 晚餐會
 - 4月4日(月) 講演會
 - 4月5日(火) 工場見學
 - (ロ) 見學工場の選定 編輯委員會に一任
 - (ハ) 實行委員分擔 編輯委員會にて協定する事
- 野田文庫資金毎年度の決算は經常決算と同様毎年3月1日より始め翌年2月末日を以て終結とす(決定)
- 来る12月の理事會は12月8日(水)に開會すること(決定)
- 入退會者及び會員異動(自10月14日至11月8日)

會員異動總計表(入退會者は承認數)

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
新入會者數	—	—	—	2	7	9
轉格者數				+67	-67	—
退會者數					2	
現在會員數	17	45	16	1,055	1,215	2,348
前月と比較	異動なし	左同	左同	+69	-62	+7

退會者氏名

准會員 近藤 馨 古野茂兵衛

報告事項

- 昭和12年10月分收支報告
- 電氣通信學會主催10月12日丸ノ内會館に開催の國産化第2回懇談會の狀況(出席者三島委員報告)
- 服部賞並に香村賞受領者推薦依頼狀各役員へ發送
- 昭和12年度第2次防空訓練(昭和12年 自11月16日至11月23日)實施要領に依り燈火管制設備として窓に遮蔽装置を爲す
- ケルビン・メタル受領候補者を倫敦へ通知せる旨日本工學會理事長より報告ありたり

編輯委員會 (昭和12年度第8回)

開會日時 昭和12年10月27日(水)午後5時開會 同7時閉會

出席者

水谷會長 吉川理事
 委員 石原善雄 五百旗頭啓 田中清治 三島徳七

鹽澤正一 廣瀬政次

協議事項

- 鐵と鋼第23年第12號上掲論文原稿選定

決定原稿

- 酸化沸騰精鍊の效用とニッケル・クロム・モリブデン鋼とに就いて 西津 鷺 吉
- 鋼の瓦斯通氣性より觀たる青熱脆性の本性に就て 田所 芳 秋
- ニッケル・クロム鋼の應力-歪圖に及ぼす熱處理の影響 太田 雞 一

- 鐵と鋼第23年第11號上掲抄録原稿決定

- 鐵鋼要覽編纂に関する件

報告

- 桶谷繁雄君 抄録員承諾
- 鐵鋼要覽原稿受付狀況

野田文庫委員會

開會日時 昭和12年11月10日(水)午後6時開會 同7時閉會

出席者

委員長 水谷叔彦 幹事 吉川晴十 三島徳七
 山縣愷介 代理 荒川直三 委員 渡邊三郎
 俵國一 金子恭輔 石原善雄 五百旗頭啓 田中清治
 鹽澤正一 廣瀬政次

協議事項

- 設備設計の審議

報告

- 野田文庫資金昭和十二年度上半期決算報告

准會員より正會員へ轉格者氏名

清水正一君	望月 要君	檜垣 達君	佐藤忠雄君
大塚 卓君	八田篤敬君	名古耶 馨君	小松原嶽次郎君
落合 勇君	岡村保雄君	倉内 積君	中山正大君
荻野 寂君	田中國雄君	伊藤梅吉君	伊賀存和君
岡本 孝君	外島健吉君	榊田定司君	里井孝三郎君
岸本 浩君	井上 豊君	堀江鐵男君	富川直正君
大庭博隆君	大島和男君	越智郷郎君	上村勝二君
小林佐三郎君	安東公平君	結城竹治君	伊藤謙三君
市田左右一君	初田數衛君	堀田秀次君	小田助男君
平世將一君	八木貞之助君	中野正義君	野田 悟君
三ヶ島秀雄君	藤田忠男君	鈴木爲次郎君	楠 正允君
川崎 尙君	麻田 宏君	杉山圭次君	伊藤英一君
本田彌太郎君	關口次郎君	上島大助君	香月秀男君
藤原 弘君	森永卓弋君	毛利定男君	大川健次郎君
北河水雄君	細川清二君	近藤順一郎君	中澤楠夫君
武田龜藏君	山本信公君	吉木 卓君	能勢正元君
後藤有一君	橋本温乎君	數納勳郎君	

新入會者氏名 (自10月14日至11月6日)

住所又は宛名先	勤務先又は職業	會員別	新入會者氏名	紹介者
板橋區志村西臺町四六三八 (電赤羽二二九五・二四四四)		正會員	高砂鐵工株式會社志村工場	風村 間松 篤次郎
滿洲國鞍山 昭和製鋼所研究所	Ph. D	"	阿 部 徹君	依村 松 國橋 太郎
福岡縣戸畑市 明治專門學校教室	學生	准會員	深見 喜兵衛君	東 的 場 幸 雄
仙臺市米ヶ袋鹿子清水二四 江刺方	東北帝大冶金學生	"	岡 田 一 郎君	的 場 仙 太郎
戸畑市中原 明治專門學校教室	學生	"	古 賀 政 行君	東 仙 太郎
八幡市松坂町一丁目	日本製鐵株式會社 八幡製鐵所研究所	"	酒 井 滿 三 郎君	大 原 久 之
杉並區荻窪一ノ一四三	東京帝大冶金學生	"	久 保 幸 雄君	田 中 清 治
門司市大里下馬寄一九九七ノ一	明治專門學生	"	萩 原 信 夫君	東 仙 太郎
大連市霞町益濟寮	滿鐵大連鐵道工場	"	請 川 敏 之君	服 部 信 次

時局應召者

- 正會員 吉岡美清君 久野陸夫君
- 准會員 安藤 勇君
- 單獨凱旋
- 正會員 鈴木千代藏君

死亡者

正會員 八木宗一君(不詳) 准會員 小林芳夫君(九月中)
 以上兩氏の御逝去は洵に痛惜に不堪茲に謹んで弔意を表す

日本鐵鋼協會第18回講演大會概況報告

(昭和12年自9月30日至10月11日)

本年度秋季大會の開催を北海道に選定されるや現地有力者より實行委員を推薦し本部と協議の結果プログラムを決定しその諸般の準備を進めたり

時恰も日支事變の勃發に際會し遠く内地よりの會員参加については憂慮さるべき状況にありしに拘らず豫期以上の多數の會員の參會を得て盛大に開催するを得たるは本會のために同慶にたえざるところなり

大會實行委員

本大會實施に當り會長より委嘱せられたる實行委員は次の諸氏なり

實行委員長	北海道炭礦汽船會社取締役	高洲鐵一郎君
實行副委員長	北大工學部長	倉塚 良夫君
〃	日本製鐵會社輪西製鐵所々々長	横田 文吉君
〃	日本製鐵所室蘭製作所々々長	打越 光保君
實行委員	北大工學部教授	阿久津國造君
〃	同 上	久次米三夫君
〃	北海道炭礦汽船會社	古谷金一郎君
〃	同 上	山崎 富太君
〃	同 上	松浦 三平君
〃	同 上	池上 宗毅君
〃	北海道製鐵倉庫會社	大野 龍郎君
〃	王子製紙會社苫小牧工場	栗田 正巳君
〃	輪西鑛山會社俱知安鑛業所々々長	大町 政利君
〃	北海道石炭鑛業會	小笠原榮治君
〃	日本製鐵會社輪西製鐵所	湯川 竹三君
〃	同 上	川口 正名君
〃	同 上	福田 徹夫君
〃	同 上	里村 伸二君
〃	同 上	吉 島 軍君
〃	日本製鐵所室蘭製作所	加藤 止孝君
〃	同 上	武谷 強助君
〃	同 上	黒川慶次郎君
〃	同 上	甲 藤 新君
〃	同 上	武田 文雄君

本大會出席會員實數

出席者合計 123名 内譯 内地會員 96名

講演大會

會場 札幌市北海道帝國大學工學部大講堂

講演大會第1日 昭和12年10月2日(土) 午前9時開會 補助員太田 芹澤兩君は受付に於て出席者氏名を調べ 見學バス代徴集印刷物配布等をなし 萩原 森田君は講演圖表係を擔當し 結城 原 小林三君は時間係を分擔 定刻 高洲實行委員長の開會の辭(要旨別項)を述べられ 次いで會長水谷博士の司會にて杉正道君 結城竹治君 吉田正夫君の順序に講演を行ひ10分間休憩に入る 尙ほ講演番號(2)の百合壽馬君の講演は本人の都合により中止せられたるにつき 結城君の講演順序が變更せられたり

10時45分より河村博士の司會の下に西武雄君 中部左内君の講演

あり 終て工學部食堂にて晝食をなす 食後北大校庭の美しき芝生に或ひは巨大なるエルムの樹下に三々五々暫し憩ふ

午後1時俵博士司會の下に山本洋一君 大倉幸雄君 菊田多利男君の講演を了し10分間休憩 午後2時30分より島岡氏司會にて矢島忠和君 眞殿統君 河合成治君の講演あり 再び10分休憩後齋藤博士司會により伊丹榮一郎君 阿部三郎君が講演し 次で佐藤知雄君が村上武次郎君の講演を代讀せられ 午後5時30分第1日講演會を終了せり

通俗講演會

10月2日(土) 午後7時 於札幌公會堂

日本鐵鋼協會及び札幌市役所聯合主催の下に通俗講演會を開催 先づ定刻高洲委員長の紹介により札幌市長三澤寛一君の開會の挨拶(要旨別項)あり 次いで日本製鐵會社輪西製鐵所々々長横田文吉君は「本邦製鐵事業に對する北海道の使命」と題し 現下道民の最大關心事を述べられて聴衆を魅了す 次に前會長工學博士河村聰君の「鐵鋼事業の性質と本邦現下の鐵鋼問題」と題して講演され 非常時局の第一線なる鐵鋼問題の正しき認識を與へられ札幌市民を啓發するところ甚大なりき

最後に水谷會長の開會の辭により盛會裡に會を閉づ

講演大會第2日 10月30日(日) 午前9時開會

定刻振鈴 齋藤博士立つて第2日の講演會開始を宣し 直ちに同君司會の下に菊田多利男君 氏家竹次郎君 柴田晴彦君の講演を了し10分間休憩に入り 午前10時30分河村博士の司會にて内川悟君 山本洋一君 佐野正夫君の講演ありたり 講演番號(19)木原堯己君の講演は本人の都合に依り中止せられたるにつき内川君の講演順序が變更されたるなり 正午工學部食堂にて晝食を取る

午後は1時より島岡氏司會をなし 篠内周三郎君の論文を中村一郎が代讀し 次いで小林佐三郎君 室井嘉治馬君の講演ありて10分の休憩に入る 午後2時30分より俵博士司會の下に原於菟雄君 堀健爾君 金森九郎君の講演次で10分休憩後水谷會長司會にて森寺一雄君 俵國一君の講演を終り 水谷會長閉會の辭(要旨別項)ありて盛況裡に講演會を終了す

晩餐會

10月3日(日) 午後6時 於札幌グランドホテル

午後6時に晩餐會の受付を開始 此の日の來賓者は 北海道廳長官 石黒英彦氏 北海道帝國大學總長高岡熊雄氏 北海道廳土木部長中村忠充氏 札幌市長三澤寛一氏 札幌遞信局長藤井崇治氏 商工會議所 札幌工業懇談會會長平塚貞治氏 北海道工業試驗場長赤木敦氏 北海道製鐵倉庫會社 常務取締役有賀條夫氏 近海郵船會社小樽支店長大河内時夫氏 王子製紙會社苫小牧工場長高田良作氏 函館船渠會社々々長大塚巖氏 大日本麥酒會社札幌支店長笠原十司氏 帝國製麻會社札幌支店長納富喜雄氏 札幌工業學校々々西野金助氏の14名にして外に實行委員 講演者を招待し 會員を合計して86名の多數となつた

グランドホテルの華麗なる大サロンに待合せたる一同は或ひは舊交を温め 或ひは新知を求めて談笑すること少時 やがて大食堂に席定まる 宴進みてデザートコースに入るや水谷會長の挨拶に始まり